



《18名の盛会だった花見会 報告》

日時：4月1日（土）午後3：00～

会場：会場：「一合半 ぶん家」（木倉町）

4月1日）木倉町にて花見会が開催されました。

参加者は蛭子/山田/中田/佐藤/大坪/吉田/中城/松岡/朝日/折戸/池田/堀野/松下/森川/中村/工藤 会友として藤井/江上 計18名でした。

犀川桜橋付近で花見散策を行いました。」犀川河畔は満開で春爛漫でした。



森川典洋氏による講演がありました。氏は大阪府出身で北陸大学薬学部卒業です。とてつもない趣味・特技の持ち主です。

その理由はお医者様を接待する為との事で納得させられました。それにしても多才です。外資系の薬品会社の営業で頑張られました。

そしてワクチン/処方箋/飲み合わせの説明を受けました。生活に役に立つ話ですから続編を期待したいものです。

なお多角経営をされておられますが、宇賀さんから引きついた「お龍」のオーナーでもあります。

その後、懇親会を行いました。久しぶりに参加者の近況が報告されました。うれしいひと時はあっという間に過ぎ楽しい宴は無事に終了しました。

会友の方にも喜んでもらえたようです。（会友の方に転送をお願いします）



《北陸三県交流会(富山) 未定 (富山/金沢龍馬会20周年)》

《福野さん！合掌・・・》

武内紘一 元 会長



石川テレビ報道の福野さんと出逢ったのはMRO北陸放送の方の紹介です。

当時北陸放送裏方として音楽制作を引き受けていました。三人の共通項は山好きでした。

初めて土清水の福野家に伺ったら、奥さまはタケウチが名古屋から金沢に通って音楽講座をしていた当時の受講生のおひとりでした。さらに福野家の木目のグランドピアノ、タケウチが仙台で結婚資金捻出のため手放した愛器だったのです。タケウチが石川テレビの番組にレギュラーで出させていただくことになった際は報道室まで挨拶に…「なにしに来たん??」「歌のホームランの審査員で」「おう制作もやるな！」

龍馬会設立の際は、会長は自分でやれ、事務のめんどくさいところを手伝う…という経過でした。40年の金沢生活を見守ってくれた福野さんでした。

お忙しい中 土清水までお出かけくださりありがとうございました。奥さま チェリストの桂子さん ともよろこんでおられました。

本当にありがとうございました。お互い元気でいましょう。よろしく願いいたします。

4月25日 合掌・・・

《和歌山大会1年前プレイベント》

日時：7月16日（日）

会場：県民交流センター 和歌山ビック愛1階ホール

時間：12時受付開始、13時開会～

次 第：講演2名の予定

懇親会、小エクスカーション有り

《第35回龍馬 World in 四万十大会》

地方あつてのニッポン

今一度、四万十川でせんたくいたし候

日時：10月28日（土）

◎本大会 時間：13:00～17:00

会場：高知県四万十市立文化センター

交流会 時間：18:00～20:30

◎エクスカーション

日時：10月29日（日）

《志士たちが活躍した長崎とは》 ⑰

中江兆民

彼は「東洋のルソー」と呼ばれた。そして自由民権運動の主導者であった。土佐藩士であり、慶応元年（1865年）長崎で学んだ時、龍馬と出会った。

長崎では土佐出身の龍馬、岩崎弥太郎や後藤象二郎とも交流をすると同時に彼らに己の要求を率直に述べている。本名は篤介で兆民は「億兆の民」という意味で号である。

弘化4年（1847年）高知城下の現はりまや町に生まれ、幼少時から読書好きで、夏は井戸に籠を吊るし涼みながら本を読んだとのこと。15才で家督を相続し足軽身分となる。藩校「文武館」で学び成績優秀につき慶応元年（1865年）長崎へ遊学する。

龍馬と出会いしばしば煙草を買いに使い走りさせられるが、「エライと思っている人から丁寧に頼まれ、いやな気がしなかった」らしい。長崎にあった幕府の語学所「済美館」（せいびかん）でフランス語を学び慶応3年には江戸に移る。その時土佐商会主任の弥太郎に旅費25両を要求したが、書生相手には多すぎると言ってすぐにくれなかった。兆民は怒ってすぐに土佐藩参政後藤象二郎に漢詩を捧げ直談判し25両を出させた。象二郎は笑いながら出してくれたらしい。この同郷である歴史上の3名の先達の性格が表れていて面白い。ついでに言えば、兆民は龍馬を指し「龍馬のひたいは梅毒のため抜け上がっている」と言っただけらしい。

江戸に移ってから語学を続け、横浜天主堂で学び、兵庫が開港されるやいなやそちらに向かいフランス外交団の通訳を務めている。明治となり東京へ戻り、フランス語を教えたり、大学南校大得行生（東大の一元流学校である「大学南高」一般学生より高度なコースを学ぶ）となり、岩倉使節団では大久保利通に採用を直談判し、司法省の下級役人として欧米使節団に参加した。アメリカからフランスへ旅をした。明治7年に帰国し東京でフランス学塾を開設し、語学、思想史、漢学を教えた。民権論も教え、ルソーの社会契約論の一部を校訂した。翌年には東京外国語学校の校長となったが文部省と対立しすぐ辞めている。その後、後藤象二郎に依頼し元老院の書記官に任命してもらい国憲案作成の調査や翻訳を行った。この時期、勝海舟や薩長の有名人の知己を得る。

元老院を退職後、家塾・翻訳、漢学修行、新聞主筆、「社会契約論」の漢訳、自由党旗揚げ、不平等条約改正運動など幅広い活動を行う。しかし東京を追放され大阪で活動し、明治23年の第1回衆議院議員総選挙で当選する。立憲自由党の設立にかかわるが、明治24年には北海道小樽に移住し企業経営や新聞を創刊。翌年には札幌で商売を開始し同時に木材業も営む。鉄道開設にもかかわる。

明治31年大阪で死亡。なお弟子には同郷で無政府主義者となり大逆事件の一つである幸徳事件で処刑された幸徳秋水がいる。自由主義者の師匠からなぜ無政府主義者が生まれたか？

中江兆民は幕末に尊皇攘夷主義者とは違う路線ではあるが熱心に勉強した。維新以降は人脈にも恵まれ活躍するが、最終的にいわば無位無官であった。

かなり奇行が多く変わり者だったらしいが後世へ日本に影響を与えたフランスの思想を紹介し、自らも活動を主導するという大きな業績を残した。龍馬の生き方の一部を体現している。

参照：ウキペディア、長崎新聞



このあたりに「済美館」があった。場所は長崎市「巖流坂」と呼ばれる。つまりこの坂を挟み右側に長州藩屋敷、に小倉藩屋敷があり、中を取り持つ武蔵と小次郎の決闘場である関門海峡の「巖流島」

会員 127番 稲原 順二さん

●年会費納入のお願い

令和5年4月から来年3月迄の年会費：
¥3,000-

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬会

振込手数料は龍馬会が負担。3千円のみです。

【編集後記】

皆さま、今回も宜しくお願ひします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第36号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局*****

金沢龍馬会

会長：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

